

評価シートに対する委員意見についての各課回答(平成25年度関連事業)

重点 方策	番号	事業名	担当課	意見	委員名 (敬称略)	担当課回答欄
-1-1	1	道徳教育推進プロジェクト	指導課教育課程室	とても良い取組だと思います。	富山	今後も千葉県で学ぶ子どもたちが、道徳性を高め、豊かでおおらかに、そして自信にあふれた頼もしい人間に成長していくことを目指してまいります。
-1-1	2	学校人権教育の推進	指導課人権教育室	ネット上での悪口、中傷、脅し、いじめなど匿名性を利用した人権侵害に対する効果的な教育指導を推進してほしい。	萩原	インターネットによる人権侵害に関する理解と教職員の人権意識の向上を図るため、研修を充実させるとともに、人権教育の視点に立った情報モラルに関する指導計画の作成等についても検討してまいります。
-1-1	2	学校人権教育の推進	指導課人権教育室	とても大切なことだと思います。大きな成果に結び付くことを期待しています。	富山	喫緊の人権課題に対する理解と人権意識の向上を図るため、今後も教職員を対象とした人権教育研修の更なる推進に努めてまいります。
-1-1	3	ちばっ子「学力向上」総合プラン	指導課学力向上室	学校や家庭での読んで語り合う新聞活用が学力に好影響との調査結果がある。NIE(教育に新聞を)活動に積極的に取り組んでほしい。	萩原	ちばっ子「学力向上」総合プランの事業ではありませんが、指導課事業として小中高校の20校を研究指定校として新聞を活用した授業実践を研究しています。学力向上の取組として推進してまいります。
-1-1	3	ちばっ子「学力向上」総合プラン	指導課学力向上室	事業の成果が上がっているようで千葉の学力向上を期待します。	鈴木(國)	ちばっ子「学力向上」総合プランの各事業の推進に努め、学力向上を図ってまいります。
-1-1	3	ちばっ子「学力向上」総合プラン	指導課学力向上室	良い取組だと思います。	富山	
-1-1	3	ちばっ子「学力向上」総合プラン	指導課学力向上室	児童・生徒にとって「理解できる、わかる授業」は重要であり、それを塾に求めるのは論外。教員の授業力upは今後も期待したい。「成果を上げており…」の成果を見えるようにしていただきたい。	有馬	ちばっ子「学力向上」総合プランの各事業評価について、「学力向上推進会議」において第三者評価を行っています。評価結果の示し方について検討してまいります。
-1-1	4	いきいきちばっ子コンテスト「遊・友スポーツランキングちば」の実施	体育課学校体育班	参加報告数は増加したが参加校数は減少している。魅力がないのでしょうか。	鈴木(國)	地域での取組に対する温度差格差があるようですので、全県下で多くの学校が取り組めるよう参加校を公表するとともに、情報宣伝活動を強化してまいります。
-1-1	4	いきいきちばっ子コンテスト「遊・友スポーツランキングちば」の実施	体育課学校体育班	期待しています。	富山	参加校が増加するよう努力します。
-1-1	4	いきいきちばっ子コンテスト「遊・友スポーツランキングちば」の実施	体育課学校体育班	中学・高校の参加校が少ない理由は何でしょうか？部活とは異なった意味で、誰もが楽しんで習慣化されることを期待します。	有馬	中学・高校での取組が経年の課題です。今後も粘り強く紹介してまいります。
-1-1	5	「体力づくり推進モデル校認定事業」の実施	体育課学校体育班	事業終了でモデル校は計何校になったのでしょうか。	鈴木(國)	延べ188校(再認定校28校を含む)事業開始当初の目標であった54市町村に1校以上のモデル校が認定済みです。(平成19年～平成25年度の事業)
-1-1	6	千葉県競技力向上推進本部事業	体育課競技力向上班	大切な取組なので、ぜひ継続していただきたい。	富山	関係団体との連携を大切に、事業を推進します。
-1-1	6	千葉県競技力向上推進本部事業	体育課競技力向上班	事業の成果は充分に出ていると思います。更に東京オリンピックで活躍出来る選手を千葉県から輩出出来るように、引き続き事業の継続が必要であると思います。この事業で2億円支出しているので、スポーツ以外の文化活動や、青少年運動、生涯学習などにも同様に、指導者や活動組織の支援が必要だと考えます。	片寄	今後も選手・指導者の育成に継続的・計画的に取り組んでまいります。
-1-1	6	千葉県競技力向上推進本部事業	体育課競技力向上班	オリンピック開催の決定で、関心や気運が高まっている状況から、本事業もますます力が入ることと思います。指導者も選手も夢の実現のため、さらに努力されることを期待します。	有馬	平成26年度より新たに「めざせ東京オリンピックちばジュニア強化事業」を実施しており、指定選手の練習環境の整備や強化活動への支援に積極的に取り組んでまいります。
-1-1	7	千葉の食文化まるごと体験事業	文化財課学芸振興室	「体験者のほとんどが中高齢者で青少年の健全育成にはつながっていない」は昨年と同じ課題ですが、青少年健全育成の関係と共同するなどされては如何か。	鈴木(國)	
-1-1	7	千葉の食文化まるごと体験事業	文化財課学芸振興室	事業の狙いと合わないのなら、やめるべき。	萩原	
-1-1	7	千葉の食文化まるごと体験事業	文化財課学芸振興室	せっかくの事業だが、青少年の参加者が少ないのは残念。内容が若者受けするものではないのでは。	鈴木(明)	千葉の食文化まるごと体験事業は、対象とする世代を限定せず実施しているものですが、より多くの青少年が参加できるように実施日や内容、広報にも工夫をしているところです。今後も、さらなる参加を促すために、努めてまいります。
-1-1	7	千葉の食文化まるごと体験事業	文化財課学芸振興室	前年度の協議会でも事業の必要性について、また事業の方法についてご意見がありました。事業費は多くありませんが、前年度と改善していると思えない。事業の継続の必要性の再検討が必要だと思います。	片寄	
-1-1	7	千葉の食文化まるごと体験事業	文化財課学芸振興室	事業の「まんじゅう」「川魚」「高菜漬け」は今の子ども・若者の食習慣からは関心の薄いものであるが、高齢者とともに学ぶ機会は大事である。開催の呼びかけ先、チラシ配布先、会場等の工夫が必要なのは？	有馬	

重点 方策	番号	事業名	担当課	意見	委員名 (敬称略)	担当課回答欄
-1-1	8	千葉フィールドミュージアム事業	文化財課学芸振興室	「参加者が中高年齢層で青少年の健全育成には必ずしもつながっていない」は昨年と同じ課題ですが、青少年の健全育成の関係と共同するなどされては如何か。	鈴木(國)	千葉フィールドミュージアム事業は、対象とする世代を限定せず実施しているものですが、より多くの青少年が参加できるように実施日や内容、広報にも工夫をしているところです。今後も、さらなる参加を促すために、努めてまいります。
-1-1	8	千葉フィールドミュージアム事業	文化財課学芸振興室	自然体験は青少年にとって有用と思うが、事業の実施方法に工夫できないか。	萩原	
-1-1	8	千葉フィールドミュージアム事業	文化財課学芸振興室	事業の目的をとらえて実施することが大前提である。今後の課題である「中高年齢層で占められた…」事業については、実施内容、条件等が目的に添っていなかったことであり、チラシの作成、配布先、参加条件などを工夫し、より多くの子ども、若者が参加しやすい方法の検討をお願いしたい。	有馬	
-1-1	9	放課後子供教室推進事業の子どもの居場所づくり	生涯学習課 学校・家庭・地域連携室	安全・安心な子供の居場所として今望まれている重要な事業です。重要な事業であることを訴えて、予算の確保につなげることを望みます。	鈴木(國)	7月と9月に市町村に27年度実施調査を行い、現在予算要望中です。
-1-1	9	放課後子供教室推進事業の子どもの居場所づくり	生涯学習課 学校・家庭・地域連携室	私の近くの小学校も積極的に取り組んでいて、地域と学校の交流でとても良いことだと思う。	富山	27年度より開始する学童保育と一体的に運営する放課後子ども総合プランの実施に向けて、さらに推進してまいります。
-1-1	9	放課後子供教室推進事業の子どもの居場所づくり	生涯学習課 学校・家庭・地域連携室	家庭や地域の教育力の低下が心配されている昨今、放課後子供教室のような居場所づくりは重要。活動や人材のより充実を期待します。	鈴木(明)	学校支援コーディネーター研修講座(年3回)、放課後子どもプラン指導スタッフ等研修会(年1回)、県からの広報誌を配布し、活動や人材の充実を図ります。
-1-1	9	放課後子供教室推進事業の子どもの居場所づくり	生涯学習課 学校・家庭・地域連携室	待機児童問題と同様、放課後子供教室の事業も重要である。単なる居場所としての問題のみならず、質の向上も考慮する必要がある。指導員の方々の交流・工夫・学び合いを県として応援してほしい。	有馬	他地区のプログラムの実施方法・内容や人材の活用などについて研修会で情報交換の場を設定し、今後の活動に生かしていきます。
-1-1	9	放課後子供教室推進事業の子どもの居場所づくり	生涯学習課 学校・家庭・地域連携室	この事業は10年近く継続をしていると思います。指導者不足が課題として上げられていますが、既に取り組まれていると思いますが、地域の青少年育成団体、ボイスカウト、ガールスカウト、子供会やYMCAなどとの連携、事業の委託などを検討してはどうでしょうか。	片寄	今までもこれらの課題については取り組んでまいりましたが、広報誌の配布等を通して、各教室、学校、教育委員会に更なる情報提供を行い、指導者の確保に努めてまいります。
-1-1	10	週末ふれあい推進事業	生涯学習課 社会教育振興室	これらの活動を教育的に定常活動として行っている青少年団体への加入に繋がっていくことが期待されます。	鈴木(國)	いろいろな場で体験活動を提供する機会が増えることにもなり、それをきっかけとして青少年団体への加入につながることも期待できると考えます。
-1-1	10	週末ふれあい推進事業	生涯学習課 社会教育振興室	自然、地域、参加者同士、親子のふれあいに良いことだと思う。	富山	様々な活動を通して、参加者同士や親子などの世代間での交流ができ、人と協調する態度や思いやりの気持ちを育むことにつながります。
-1-1	11	青少年教育施設の運営	生涯学習課 社会教育振興室	一例として、千葉県少年自然の家は利用者の満足度調査を実施し、プログラム開発や食事内容の改善等に努め、学校・団体・家族への利用案内も積極的に進め、素晴らしい運営をしています。	鈴木(國)	県立青少年教育施設においても、利用者アンケートを実施し、満足度や意見聴取を行い、施設の運営改善につなげるよう努力しているところです。また、学校以外の団体利用を促進するため、ホームページやリーフレットによる広報を進めています。
-1-1	11	青少年教育施設の運営	生涯学習課 社会教育振興室	各施設でのサービス、プログラム提供などの質が向上しているとの意見を良く耳にします。主催事業や来所者に提供されるプログラムも工夫が見られる。また、プログラム提供には地域の方にボランティアをお願いしているケースがあるが、地域に根差した施設のためにはとても良いことである。また、ホームページも充実してきているが、ネット上で予約ができるようになると更に利用者の利便性が高まると思う。青少年が利用する場合、施設利用料が無料となるが、このことは是非継続していただきたいと思います。	片寄	主催事業や利用団体支援について、改善を図れるようアンケートによるモニタリングを実施しております。利用団体用プログラムについても、職員による直接指導を充実させるなど、教育的効果が高まる工夫に務めています。青少年団体向けの無料措置の継続及びインターネットによる予約受付については、検討しているところです。
-1-1	12	子どもの読書活動推進事業	生涯学習課 社会教育振興室	読書は、子供にとって学力向上につながり、大変重要なことですので、学校および地域公立図書館の充実が望まれます。	鈴木(國)	子どもの読書活動の推進の担い手が、連携協力することで、子どもに身近な読書環境の充実を図っていきます。
-1-1	12	子どもの読書活動推進事業	生涯学習課 社会教育振興室	大切なことなので、期待します。	富山	27年3月策定予定の「千葉県子どもの読書活動推進計画(第三次)」をもとにさらに推進します。
-1-1	12	子どもの読書活動推進事業	生涯学習課 社会教育振興室	とても良い取り組みで成果が上がっていると思います。その先を考えると、100選の本が地域や県の図書館に蔵書されていることが望まれます。	片寄	リーフレット作成時の前提として、市町村図書館において概ねそろえられるものをリストアップしています。県立中央図書館では、全冊そろっています。
-1-1	13	通学合宿推進事業	生涯学習課 社会教育振興室	事業の効果は十分理解できます。問題は施設。青少年施設は自然豊かな山の中、通学に至便な施設は街中に得難いところです。	鈴木(國)	通学合宿で利用する施設は、青少年教育施設もありますが、地域の公民館や集会所、中には高等学校の合宿所など、実施主体がふさわしい施設を選択して実施しております。
-1-1	13	通学合宿推進事業	生涯学習課 社会教育振興室	この事業は子ども達に生活体験、交流体験をさせるために良い取組だと感じています。プランにはボーイスカウトやガールスカウト、子供会との連携が示されていますので、具体的にどう連携するのか、または委託をする取組が必要ではないかと思う。	片寄	市町村をはじめとする実施主体の運営方法は様々であり、地域の各団体との連携も1つの方法です。連携の仕方としては、運営の中で、それぞれの活動において、団体ごとに分担して任せる例があります。委託については、実施主体が必要に応じて検討しています。

重点 方策	番号	事業名	担当課	意見	委員名 (敬称略)	担当課回答欄
-1-1	15	学童期からの生活習慣病予防事業	健康づくり支援課 食と歯・口腔健康班	良い事業ですので、広く普及を図っていくことが必要と思います。	鈴木(國)	今後も子どもの頃からの適切な食習慣づくりを推進するほか、ライフステージに応じた適切な食生活等について普及啓発を行うことにより生活習慣病を予防し、生涯を通じた健康づくりを図ります。
-1-1	15	学童期からの生活習慣病予防事業	健康づくり支援課 食と歯・口腔健康班	子供の糖尿病が増えている中、重要な施策。民間の啓発団体(「小象の会」)とコラボしてはどうか。	萩原	平成24年度に「しっかり運動 早ね 早おき 朝ごはん」について、医師(「小象の会」理事長)や教育者の立場からの講演とパネルディスカッションをしていただきました。この講演会では子どもの頃からの適切な生活習慣の獲得と定着を図ることの重要性を保護者等に普及啓発することができましたが、今後も小象の会等の民間の啓発団体と協力するなどして事業を進めます。
-1-1	15	学童期からの生活習慣病予防事業	健康づくり支援課 食と歯・口腔健康班	健康に係る問題なので、期待しています。パンフレットも分かりやすい。	富山	26年度は、25年度に実施した「カンタン!!野菜たっぷり!!ヘルシー料理コンテスト」の入賞作品について、新たなパンフレットを作成し普及啓発を推進するなど、適切な食生活等を通じた生活習慣病予防や健康づくりに取り組んでいます。
-1-1	15	学童期からの生活習慣病予防事業	健康づくり支援課 食と歯・口腔健康班	26年度の予算が、25年度の半分、24年度の1/4になっているが、食生活は健康の基盤になるものなので、しっかりと取り組んでほしい。	鈴木(明)	毎年度の事業内容に応じて予算額は異なりますが、啓発方法を工夫するなどして、引き続きライフステージに応じた適切な食生活等について普及啓発を行うことにより生活習慣病を予防し、生涯を通じた健康づくりにしっかりと取り組んでまいります。
-1-1	16	ちば食育活動促進事業	安全農業推進課 食の安心推進室	更に県民にアピールしていくことが望めます。	鈴木(國)	ちば食育ボランティア・サポート企業をはじめ、市町村、関係団体等と連携し、県内各地で啓発活動を行っているところです。今後、6月・11月の食育月間における広報・啓発の強化及び官民連携による活動の充実を図り、県民への普及啓発に一層努めてまいります。
-1-1	16	ちば食育活動促進事業	安全農業推進課 食の安心推進室	食育について、沢山の人が取り組んでいることに感謝したい。	富山	
-1-1	17	いきいきちばっ子食育推進事業	学校安全保健課 給食班	期待しています。	富山	
-1-1	18	豊かな人間関係づくり推進事業	教育政策課 教育立県推進室 指導課教育課程室	学校教育だけでなく青少年教育団体にも役立ちそうに思いますが。	鈴木(國)	核家族化や少子化など社会状況が大きく変化する中で、子どもたちが、人間関係を築く力を身に付けることを目指しております。千葉県教育委員会のHPに指導案等掲載しており、今後、様々な場面で活用いただけるよう促進してまいります。
-1-1	18	豊かな人間関係づくり推進事業	教育政策課 教育立県推進室 指導課教育課程室	期待しています。	富山	
-1-1	18	豊かな人間関係づくり推進事業	教育政策課 教育立県推進室 指導課教育課程室	できるだけ多くの教員にプログラムを活用していただきたいが、現場の多忙さからなかなか活用できないのではないかと、指導主事などが講師として学校に行き研修するなど工夫が必要。	鈴木(明)	プログラムの活用状況や効果、改善に向けた要望などを調査しており、更なる効果的な活用を図るとともに、学校訪問等で指導・助言してまいります。
-1-1	19	男女共同参画センター「男女共同参画講座等」の開催	男女共同参画課企画調整班	講座等開催について、ウィークデーの開催でなく、土日開催が参加者にとっても参加しやすいと思います。	鈴木(國)	開催日については、毎回実施するアンケートの結果等を踏まえて、検討していきます。
-1-1	19	男女共同参画センター「男女共同参画講座等」の開催	男女共同参画課企画調整班	難しい問題ですが、男性の参加が増えることを期待しています。	富山	さらに男性の参加も増えるよう、内容や実施日等を検討していきます。
-3-5	44-1	子ども・若者育成支援推進事業	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	提言・報告書を広く周知して支援体制を作ることが望めます。	鈴木(國)	支援協議会での検討結果を踏まえ、より効果的な支援を行うためのネットワーク形成に努めます。
-3-5	44-2	子ども・若者育成支援推進事業	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	ライトハウスを設立し成果が出てきて、ますます今後の推進が期待されます。	鈴木(國)	
-3-5	44-2	子ども・若者育成支援推進事業	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	ライトハウスちばの活躍に敬意を表します。	富山	
-3-5	44-2	子ども・若者育成支援推進事業	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	相談窓口として非常に重要。教育委員会関連機関との連携はどの程度できているのか？HPへのアクセス件数を増やしたい。	鈴木(明)	「ライトハウスちば」から、教育庁「子どもと親のサポートセンター」へのリファーは件数も多く、有力な「つなぎ」先であるとともに、支援協議会の主要メンバーとして密接な連携をとっております。また、HPの周知を図ることにより、埋もれている悩みを発掘し、ライトハウスちばへの相談へとつなげるため、引き続き学校や県内市町村支援機関への広報を実施してまいります。

重点 方策	番号	事業名	担当課	意見	委員名 (敬称略)	担当課回答欄
-3-5	44-2	子ども・若者育成支援推進事業	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	社会問題化をしているこれらの問題に取組成果が出ているので継続が必要と思います。課題としてアウトリーチの必要性があげられているので、それを実現出来るように検討願いたい。計画番号46でも同じような事業が展開されています。担当課同士での連携をよく行い事業の無駄のない様に願います。	片寄	支援が必要にもかかわらず、ひきこもり状態のまま潜在化している若者やその保護者等に支援の手を差し伸べられるように、「ライトハウスちば」運営業務受託団体の実績を活かし、アウトリーチ手法の実現に向けての検討を継続します。ひきこもり支援に關しての専門支援機関である「ひきこもり地域支援センター」及びその担当課である障害福祉課とは、支援協議会での協議や日常の相談業務の中での密接な情報交換により、事業の相乗効果を図ってまいります。
-3-5	46	ひきこもり地域支援センター事業	障害福祉課 精神保健福祉推進室	「子ども・若者育成支援推進事業」との違いがよくわからない。	萩原	対象者が満18歳以上のひきこもりの方及びその家族等であり、「ひきこもり」に特化した相談機関です。
-3-5	46	ひきこもり地域支援センター事業	障害福祉課 精神保健福祉推進室	事業番号44-2と同様。	片寄	電話相談に加えアウトリーチも実施しています。委員の意見を踏まえ、今後も「子ども・若者支援協議会」等に参加しながら連携を図ってまいります。
-3-5	47	訪問相談担当教員の配置	指導課生徒指導・いじめ 対策室(教職員課)	「配置(事業名)」の問題だけでなく広く活動の問題ですね。	鈴木(國)	不登校に関わる要因が多様化・複雑化しており、学校だけではその対応が難しくなっているため、訪問相談担当教員への需要が高まっている状況です。
-3-5	47	訪問相談担当教員の配置	指導課生徒指導・いじめ 対策室(教職員課)	訪問相談担当教員のご苦労に感謝します。	富山	平成25年度の訪問相談担当教員の総活動件数は14,345件と、活動件数が増加している状況にあり、需要の高さが伺えます。
-3-5	47	訪問相談担当教員の配置	指導課生徒指導・いじめ 対策室(教職員課)	非常に重要な事業であり、効果も上げている。増員が望まれる。	鈴木(明)	平成26年度は東葛飾教育事務所管内を南北に分けて2名配置することにより、合計12名の配置ができました。これにより、各教育事務所で2~3名配置されたことになり、不登校等児童生徒の対応に、より一層対応できるようになりました。
-3-5	47	訪問相談担当教員の配置	指導課生徒指導・いじめ 対策室(教職員課)	ニーズがあり、その必要性があるならば、担当者の増員、必要な経費(旅費)を充てる必要があると考えます。早急な対応を望みます。	片寄	平成26年度は東葛飾教育事務所管内を南北に分けて2名配置することにより、合計12名の配置ができました。これにより、各教育事務所で2~3名配置されたことになり、不登校等児童生徒の対応に、より一層対応できるようになりました。しかし、家庭訪問等に要する旅費については、十分に令達できていない現状です。
-3-5	48	生徒指導専任指導主事の配置	指導課生徒指導・いじめ 対策室(教職員課)	活動に期待しています。	富山	県内5教育事務所合計13名を配置しました。各学校が抱える児童生徒の暴力行為、いじめ、不登校等の問題行動、校内生徒指導体制の確立について、管理職や教職員に指導・助言しました。
-3-5	49	不登校対策推進校の指定	指導課生徒指導・いじめ 対策室(教職員課)	長欠ではないが、教室に入れない児童生徒が多くなっている。校内適応指導教室の充実のため、推進校を増やしてほしい。	鈴木(明)	平成26年度の不登校対策推進校は125校となっています。推進校の決定については、今年度の活動状況等から来年度の要望を関係課と共有し、不登校対策推進校の拡充に取り組んでいきたいと考えております。
-3-5	51	特別支援アドバイザー事業	特別支援教育課 障害児支援室	限られた人員で、多くの要望に対応しなければならない難しさを感じる。	富山	平成25年度は、要請件数の96%を特別支援アドバイザーが、残りの4%を教育事務所の担当指導主事等が対応し、すべての要請に応え、各学校から高い評価を得ています。
-3-5	51	特別支援アドバイザー事業	特別支援教育課 障害児支援室	アドバイザーの要請が多く、十分にニーズに応えられていないという現状がある。増員をお願いしたい。	鈴木(明)	要請件数が年々増加している状況を踏まえ、平成25年度は、特別支援アドバイザーを1名増員しました。今後とも、各学校からの要請に適切に対応していけるよう努めてまいります。
-3-5	53	高等学校特別支援教育支援員配置事業	特別支援教育課 障害児支援室	学校や指導者に心身のゆとりがあることで、個別対応にも応じることができる。予算の減額がないよう、今後も事業の拡大に期待します。	有馬	今後も高等学校からの要請に基づき、配置が必要と考えられる生徒について実態を把握し、必要性を認める場合には、財政当局と協議していきます。
-3-5	54	教育相談事業の充実	子どもと親のサポートセンター 教育相談部	相談件数減は対象者減であれば良い話ですが、相談に来ないなど、潜在化でなければよいが、と思います。	鈴木(國)	電話相談の件数が大幅に減少(約3,700件)している要因としては、無言、ためらい、リピーター等の減少が挙げられます。来所相談は前年度比で7.9%の減少であるが、延べ5,000件超えています。また、新規の来所相談者も増加傾向で、教育相談業務の中核である来所相談のニーズは高く、相談者の子サポへの紹介者はスクールカウンセラーや学校関係者が多く、学校が何らかの関わりを持ち、子サポに繋げている事例が多く見られます。
-3-5	54	教育相談事業の充実	子どもと親のサポートセンター 教育相談部	LINEやインターネットなどのトラブルも増えている。このような新たな問題への対応について研修を実施してほしい。	鈴木(明)	平成26年度の教育相談上級研修3事業では、「いじめとネット社会」という演題でインターネット等に関する問題を取り上げ、新たな問題に対する学校の対応について研修を行いました。なお、職員もネット依存に関連する外部研修に参加しています。
-3-5	55	ちば地域若者サポートステーション事業	雇用労働課 若年者就労支援班	地域との連携不可欠、周知することが重要です。	鈴木(國)	ちば地域若者サポートステーションでは、支援対象地域内における若者支援機関と定期的に会議を行うことにより、連携を密にします。また、リーフレットを関係機関に配布するとともに、支援対象者に向けたホームページを充実させる等、周知にも力を入れて取り組んでまいります。

重点 方策	番号	事業名	担当課	意見	委員名 (敬称略)	担当課回答欄
-4-7	60	社会を明るくする運動補助金	健康福祉指導課 地域福祉推進班	青少年が、犯罪や非行のない社会をつくるためにはどうしたらよいかを考えることはとても良いことだと思う。	富山	県としても、犯罪や非行のない安全で安心な社会を実現するため、青少年が犯罪や非行の防止や立ち直りの支援について理解を深めることは重要であると考えております。
-4-7	61	青少年非行防止対策事業	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	上記のリーフレットに、スマートフォンの長時間利用、ネット犯罪、歩きスマホや自転車運転中のスマホ利用の危険、使用禁止を収録してほしい。	富山	非行防止リーフレットにつきましては、学校関係者・教育行政関係者・行政関係者等より御意見をいただき、毎年内容を改定しています。今後も、よりよいリーフレットとなるよう、多くの方の意見を参考にしていきたいと考えています。
-4-7	61	青少年非行防止対策事業	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	今、求められている重要な事業の一つで取組を強化して進めていただきたいと思います。	鈴木(國)	
-4-7	62	学校警察連絡制度	警察本部少年課	制度そのものが形骸化していると思う。自転車安全利用五則の問題、ネット犯罪、深夜徘徊、喫煙飲酒など、相当の数があるのにこの実施状況は考えられない。	富山	いじめ、非行問題、犯罪被害等について学校との情報共有等を図っており、今後とも、警察・学校との連携を図ってまいります。
-4-7	63	スクール・サポーター制度	警察本部少年課	子ども達の登下校時の安全対策については、学校・警察だけでは不十分だと思う。地域の青少年健全育成団体と連携した取組を強化すべきだと思う。	富山	関係機関・団体との連携は必要であります。今後も関係機関・団体との連携した取組に努めます。
-4-7	63	スクール・サポーター制度	警察本部少年課	教員は夜遅くまで対応に追われ、疲弊している。昔の非行とは様態が変わってきており、対応に苦慮している。増員をお願いしたい。	鈴木(明)	関係部局の御理解を得ながら、増員を図ってまいります。
-4-7	63	スクール・サポーター制度	警察本部少年課	残念なことにスクールサポーターのニーズが増えているが、人員的に派遣要請に応えられていないことが残念である。本来、スクールサポーターの派遣を必要としないことが理想ではあるが、必要とされている学校に派遣出来るように処置をお願いしたい。この制度を利用した学校長によれば、サポーターの方の支援により、問題を起している生徒が改善することももちろん、他の生徒の学習環境の改善にもつながるなどの効果があったとの話を聞いている。ただ、要請しても派遣まで時間がかかるなど、課題もあるとのことであった。学校現場から必要な要請があれば、それに応えられる体制を整えることは必要なことだと思う。	片寄	関係部局の御理解を得ながら、増員を図り、派遣要請に迅速に応えるための体制の整備に努めます。
-4-7	64	少年に手を差し伸べる立ち直り支援活動	警察本部少年課	青少年のボランティア活動は、再犯防止に効果があると思うので、地域のゴミゼロ、クリーングリーン作戦、美化活動などに、学校全体で参加することを検討してほしい。私の地域では行っている。	富山	少年の立ち直り支援のため、学校やボランティア団体等の協力を得て、地域全体での取組に努めます。
-4-7	65	少年サポート活動	警察本部少年課	各警察署も、それぞれの市の健全育成団体と連携して、非行防止活動をしている。	富山	
-4-7	66	少年補導員活動	警察本部少年課	少年警察ボランティアの委嘱人数はどのくらいいるのでしょうか。単独で活動することも大切だと思いますが、地域社会と連携した活動により、より効果的になるのではないのでしょうか。	富山	平成26年9月末現在、委嘱している少年補導員は、543人となります。地域社会と連携した効果的な補導活動に努めます。
-4-7	67	タッチヤング活動	警察本部少年課	中学校の体育教科の中に柔道が採用されているが、指導者が足りないと言われている。各市の柔道協会(連盟)とタイアップして、指導者を派遣することを考えてほしい。	富山	中学校への指導者への派遣については、教育庁の所管になります。
-4-7	68	自転車盗難対策推進モデル校事業	警察本部生活安全総務課 犯罪抑止推進室	私の市では、いろいろな活動やキャンペーンに中学・高校生に参加していただいている。生徒に犯罪防止の自覚をしていただくことは、とても効果的だと思う。多くの市町村で実施するようにしたら良いと思う。	富山	県内38警察署にて、中学校14校、高等学校27校、大学8校の計49校をモデル校として指定し、各種防犯キャンペーン等を合同で行っています。引き続き、連携しながら取組を行ってまいります。
-4-7	69	薬物乱用防止対策事業	薬務課 麻薬指導班	薬物乱用防止教室の開催が、74回9,220人というのは、余りにも少なすぎる。それぞれの学校で、年1回は実施しても良いと思う。例えば、ある学年になったら、必ず受講させてはどうだろうか。	富山	教育庁は公立の小中高校において、延べ960回、165,243人の生徒に対し、薬物乱用防止教室を実施しています。今後とも教育庁と連携を図り、薬物乱用防止教室の実施率の向上に努めます。
-4-7	69	薬物乱用防止対策事業	薬務課 麻薬指導班	脱法(危険)ドラッグの影響がこれだけ社会問題となっている状況で、臨時の予算措置等による緊急対策がなされるべきではないか。	井内	平成26年9月補正予算で、青少年層を中心に危険ドラッグに関する緊急広報啓発を実施します。
-4-7	70	薬物相談窓口事業	薬務課 麻薬指導班	薬物乱用の危険性について相談に対応することも大事ですが、広報していくことも重要です。	鈴木(國)	
-4-7	70	薬物相談窓口事業	薬務課 麻薬指導班	大切なことなので、しっかり取り組んでほしい。	富山	薬物の危険性等の啓発に併せて、一層の相談窓口の周知を図ります。
-5-10	88	青少年育成団体への活動支援	生涯学習課 社会教育振興室	次代を担う子ども達への取組が、こんなものかと腹立たしく思う。こんなことでは、各団体とも力が入らないと思う。	富山	引き続き、日常的に連絡を取り合うなど連携を密に取る中で、各団体の課題や要望を把握し、各団体の求めに応じてきめ細やかに支援していきます。

重点 方策	番号	事業名	担当課	意見	委員名 (敬称略)	担当課回答欄
-5-10	88	青少年育成団体への活動支援	生涯学習課 社会教育振興室	社会教育団体への支援は、現在の社会環境において、地域で子どもを見守り、育てることの必要性が今まで以上に高くなっている。会員減のための支援(広報)だけではなく、青少年育成のための事業、指導者養成のための事業など幅広く補助していくべきではないか。今まで以上に、それぞれの団体の実態、事情などをヒアリング、指導いただき、より柔軟性のある支援が必要だと思います。スポーツ選手の養成と同じように、県内の子どもやそれを支える成人への支援の強化を期待している。(補助金から事業への支援への転換も必要ではないか)	片寄	どのような事業に対して補助金を活用するかは、各団体が自主的に決めています。広報活動に重点を置く団体が多い状況です。引き続き、ヒアリングや日常的に連絡を取り合う中で、各団体の活動状況や指導者育成等も含めた課題の把握に努め、プログラム開発等の支援に対しても、各団体の求めに応じて行っていきます。
-5-10	88	青少年育成団体への活動支援	生涯学習課 社会教育振興室	21世紀を担う青少年の育成こそ今に生きる大人の役割。少子化や趣味の多様化、さらに組織に縛られたくないという親子の傾向による会員の減少化に対する対策、プログラムの充実化と指導者の養成・訓練に支援が必要であります。	鈴木(國)	日常的に連絡を取り合うなど連携を密に取る中で、各団体の活動状況等の課題の把握に努め、会員募集やプログラム開発及び指導者育成等の支援に対しても、各団体の求めに応じて行っていきます。
-5-10	88	青少年育成団体への活動支援	生涯学習課 社会教育振興室	青少年にとって良い事業と、社会や青少年が求める良い事業とでは大きな壁があることが会員の減少につながることは…。事業計画を見直されたことによる効果が、2,3年後にあらわれることを期待する。	有馬	日常的に連絡を取り合うなど連携を密に取る中で、青少年の実態についての情報提供や実態にあった、より効果的な事業計画の開発に関して、各団体の求めに応じて支援してまいります。
-5-10	89	千葉県地域コミュニティ活性化支援事業	県民生活・文化課 交流事業班	地域社会の連携強化は、青少年問題協議会の中でもっと議論すべきと思う。各団体がバラバラに活動していたのでは効果が出ないと思う。子どもは大人の背中を見て育つ。	富山	それぞれの地域で抱えている課題は違いますが、解決に向けた取組を行うためには、地域の多様な主体による協働は欠かせませんので、今後も協働による取組の促進を図ってまいります。
-5-10	90	学校とNPOとの連携促進事業	県民生活・文化課 交流事業班	連携することは大切。教育委員会に相談すれば、前進すると思う。	富山	教育委員会と連携を図ることにより、公立の小・中学校の教員対象の研修回数の増加や、NPO講座を総合学習等のカリキュラムに位置付けることで、講座を生徒にも実施できるよう検討します。
-5-10	90	学校とNPOとの連携促進事業	県民生活・文化課 交流事業班	学校とNPOが連携することは学校とNPO双方にとって意義があります。	鈴木(國)	NPOと学校との連携を促進することで、生徒を取り巻く課題の解決や、教育の充実等の効果が期待でき、NPO講座は教職員がNPOへの理解を深め、学校がNPOとの連携を始めるきっかけとしての役割を果たしています。
-5-10	91	千葉県青少年協会助成事業	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	「私の思い 中学生の主張」は、いくつかの市から何校が応募し、何点が集まっているのだろうか。せっかく良いことをしても、その主旨が全市・全校に伝わらなかつたら、毎年同じ学校で同じ点数しか集まらないと思う。取組結果を公表すべきだと思う。	富山	「中学生の主張」については、青少年協会の中核事業として今後も積極的に取り組んでまいります。また、応募状況については、協会HP及び機関誌「青少年ちば」などで公表しております。県下の多くの学校が参加されるよう今後も広報啓発に努めてまいります。
-5-10	91	千葉県青少年協会助成事業	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	中学生の主張などは、子ども達が活躍できる場として是非継続をされたい。また、中学生の主張から、取り入れられるものは行政などで検討してはどうか。このような事業を通して、ジュニアリーダーの養成などが出来れば良いと考えます。	片寄	
-5-10	91	千葉県青少年協会助成事業	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	千葉県青少年育成運動推進のこなめ役として、推進事業への支援は必須です。	鈴木(國)	今後とも、青少年育成県民運動の推進母体である、青少年協会を県として支援してまいります。
-5-10	91	千葉県青少年協会助成事業	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	県青少年協会は優れた事業を展開されている。県も積極的に支援してほしい。	萩原	
-5-10	92	青少年相談員設置事業	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	相談員の活動は、各学校のPTAの「おやじの会」の活動に類似している。しかし、相談員の活動は、自主財源だけで運営されているので活動に制約がある。活動の見直しに期待したい。	富山	青少年相談員相談員活動について、各市町村の実情に合わせた活動がなされているところです。また、県といたしましては、各相談員の資質向上を目指し、基本研修会・課題研修会・全体研修会を開催しております。今後も、各地区の実情に応じた研修会を開催し、相談員の資質の向上に努めていきたいと思っております。
-5-10	92	青少年相談員設置事業	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	地域の青少年健全育成のリーダーとして、青少年育成関係団体とも連携しての推進を期待いたします。	鈴木(國)	平成26年8月31日に開催された、千葉県青少年相談員50周年記念大会では、平成25年度の活動に加え、過去の相談員活動をふりかえり、「学校・家庭・地域の連携を図り、青少年相談員活動の一層の充実を努めること」「関係機関や青少年団体等と協力し、青少年の健全育成に地域ぐるみで取り組むこと」等が宣言されました。
-5-10	93	青少年補導センター事業	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	各市の青少年補導員が、これだけ生き生きとした活動ができるのは、「千葉県青少年補導員大会」のおかげだと思う。各市の青少年補導センター、補導員連絡協議会が連携しているからこそ、多くの研修会による資質向上、情報交換ができるのだと思う。	富山	今後とも、青少年補導員大会や会議等を通して連携を強化しながら青少年健全育成を推進してまいります。
-5-10	93	青少年補導センター事業	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	青少年の非行を未然に防ぐ役割を担う重要な任務、青少年相談員と両輪となって青少年健全育成の活動を期待します。	鈴木(國)	引き続き、連携を強化しながら地域の青少年健全育成を推進してまいります。
-5-10	93	青少年補導センター事業	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	振り込め詐欺事件で、青少年・若者が補導・逮捕されている。その背景・理由の解明と対策について議論して欲しい。	萩原	振り込め詐欺事件で検挙される少年が増加していることは認識しています。県警等の関係機関と情報交換・情報共有を図りながら、連携協力して対応してまいります。

重点 方策	番号	事業名	担当課	意見	委員名 (敬称略)	担当課回答欄
-6-11	94	防犯意識を高める広報啓発事業	生活安全課	私の市では、警察、市防犯課、自治会連合会が中心になって防犯パトロールを実施している。自治会が車を持っていて、毎日パトロールをしているところもある。また、市防犯課で青パト(青色回転灯車)を8台持っていて、各自治会に貸し出している。	富山	県内では、市町村所有の車両のほか、防犯ボランティア団体など様々な主体が公安委員会の許可を受けて、青色回転灯装着車両による防犯パトロールを実施しており、その数は、平成26年4月末日現在では、349団体、1,280台となっています。一部の市町村においては、防犯ボランティア団体等への貸出しや運行委託も行っていきます。
-6-11	94	防犯意識を高める広報啓発事業	生活安全課	町内会活動等として、防犯パトロールが行われております。これらの実施状況等把握することも成果の把握に繋がるのでは。	鈴木(國)	県では、先進的な自主防犯活動の実例等を掲載した情報誌を年2回(9月、3月)発行し、防犯ボランティアトップリーダー(現在約1,800名登録)や市町村等に配布しています。また、防犯ボランティア交流大会を開催(11月)し、防犯ボランティア団体等の防犯活動の事例発表を行い、情報の共有化を図っています。
-6-11	95	自主防犯団体トップリーダー養成事業	生活安全課	各市でいろいろな防犯活動をしているので、活動事例集を作って各自治体に配布し、参考にしていただけたらどうか。	富山	県では、先進的な自主防犯活動の実例等を掲載した情報誌を年2回(9月、3月)発行し、防犯ボランティアトップリーダー(現在約1,800名登録)や市町村等に配布しています。また、防犯ボランティア交流大会を開催(11月)し、防犯ボランティア団体等の防犯活動の事例発表を行い、情報の共有化を図っています。
-6-11	96	地域の防犯力アップ補助事業	生活安全課	防犯キャンペーンに、中学・高校生を参加させると効果が大い。	富山	県では、平成23年度から高校生や大学生など次世代を担う学生防犯ボランティアの発足を支援、現在、17団体(12大学、24高校(特別支援学校含む))が活動しています。
-6-11	96	地域の防犯力アップ補助事業	生活安全課	計画番号94、95の事業とも関連、合わせて成果を挙げていただきたいと思います。	鈴木(國)	地域の防犯力アップに大きな役割を担っている県民の自主防犯活動を促進し、その発展・強化を図るために市町村が行うパトロール資機材整備事業について、その経費の一部を補助してまいります。
-6-11	97	安全で安心なコミュニティ推進事業	生活安全課	私の市は、東日本大震災で大きな被害を受けた。それを契機に災害時の自助、共助、公助の果たすべき役割をまとめた。特に共助は、ご近所、コミュニティの繋がりが大切であることがわかった。また、危機管理官が「想定される被害と対策」について学校や自治体で講演を行っている。	富山	県では、住民、市町村、警察などが参加する合同防犯現地診断を行なうことにより、地域の防犯上の問題点を把握し、参加者全員で改善策などについて意見交換を行い、相互の共通の認識を深めるとともに、安全な地域防犯活動に活用するなど、「防犯力」のある地域コミュニティづくりを進めています。
-6-11	97	安全で安心なコミュニティ推進事業	生活安全課	実施していない市町村への強力な働きかけが望まれます。	鈴木(國)	県では、毎年度4月に「市町村防犯担当課長会議」を開催し、県が実施する合同防犯現地診断の周知を行っています。ただ、現行の事業は、年5箇所程度であり、すべての市町村の要望を受け入れられる状況でないため、防犯パトロールの手引きを作成し、防犯ボランティア等に配布を行っているところです。
-6-11	98	ちばっ子安全・安心推進事業	学校安全保健課 安全室	子どもの登下校、特に下校時の事故が多く報ぜられています。事業の成果を期待します。	鈴木(國)	学校での安全教育の充実を図るとともに、地域のボランティアの方々の協力を得て、子どもたちの見守り活動を充実させていきます。
-6-11	98	ちばっ子安全・安心推進事業	学校安全保健課 安全室	各学校で通学時の安全を確保するため「危険マップ」を作っている。	富山	地域の特性に応じた、交通安全・防犯・防災安全マップづくりに取り組んでいきます。
-6-11	99	青少年の社会環境づくり事業	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	情報機器販売者への指導を強化するなどお願いしたいと思います。	鈴木(國)	条例に基づく携帯電話等販売店への立入調査により、引き続き確認及び指導を行ってまいります。
-6-11	99	青少年の社会環境づくり事業	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	事業者ができることは限定的である。家庭・学校・地域社会が連携して取り組んでいくことが急務だと思う。それぞれが果たさなければならない責任を明確にし、実行していくことが大切だと思う。	富山	青少年の健全育成のため、県民及び事業者のそれぞれの責務の認識を高めるよう、条例の周知を図ってまいります。
-6-11	100	青少年ネット被害防止対策事業	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	是非継続実施していただきたい事業です。	鈴木(國)	
-6-11	100	青少年ネット被害防止対策事業	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	ネットパトロールは犯罪防止・被害防止に即効性のある対策だと思う。また、年々講演や啓発活動も急増しているとのことなので、期待をしています。	富山	今後も、各関係機関・学校現場へ情報を提供し、生徒指導につなげてもらうとともに、青少年がインターネット上のトラブルに巻き込まれないように取り組んでいきたいと考えています。
-6-11	100	青少年ネット被害防止対策事業	県民生活・文化課 子ども・若者育成支援室	悪質な書き込みは重大な人権侵害、とのスタンスで対策を進めてほしい。	萩原	
-6-11	101	サイバー犯罪対策の推進	警察本部 サイバー犯罪対策課	スマートフォンの普及とその低年齢化を考えると、この事業の重要性は高い。関連する他の事業は、どちらかという起きてしまっからの対応であるが、そうならないような事前の取組を強化すべきと考えます。県警だけでは人員的にも時間的にも対応が難しいと思われるので、各警察署にこの啓発活動ができる担当の方を養成する、携帯電話会社などとの連携をして、各学校で安全教室が実施出来る体勢を整えることを切望します。また、生徒、児童だけではなく、保護者への啓発も大切である。	片寄	・今後もインターネット利用者が被害者にも加害者にもならぬよう、ネット安全教室を実施していきます。 ・各警察署生活安全課においても担当者を設置しており、依頼があればネット安全教室を実施しています。 ・ネット安全教室の対象者は生徒、児童だけでなく、保護者、教職員等に対しても実施しています。
-6-11	101	サイバー犯罪対策の推進	警察本部 サイバー犯罪対策課	青少年が犯罪に巻き込まれないよう、活動に感謝しています。	富山	今後も出前講話方式という形で、ネット安全教室を実施していきます。
-6-11	102	暴走族総合対策の推進	警察本部交通捜査課	関係機関の活躍に期待します。	富山	